

令和5年度の重点課題

○男子

・運動への意欲が高く、長座体前屈以外の項目で、県平均値・全国平均値を上回ることができた。
・運動の基本である柔軟性を高め、健康体力の向上に努める。

○女子

・「上体起こし」「反復横跳び」「50m走」において、県平均値かつ全国平均値より低い。全体的に体力の向上に努める必要がある。

○新体力テスト総合評価結果

・AB率34.5%、DE率32.7%（AB－DE率1.8%）

上記の課題を受けて具体的に取組んだ事項

○体育の準備運動の中に、学校全体で統一した柔軟運動を取り入れ、継続的に行うことにより、柔軟性の向上を図った。

○毎週火曜日の昼休憩に、元気タイムを取り入れ、柔軟性の向上に努めた。

○家庭との連携を図り、のびのび週間として、柔軟に取り組む強化習慣を設け、「のびのびカード」を作成した。

○生活振り返り習慣を設け、よりよい生活習慣を意識できるように、保護者にも協力を得た。

令和6年度新体力テストの結果 県平均値(令和5年度)・全国平均値(令和4年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	18.50	20.00	33.67	39.67	58.83	9.17	154.50	25.50	56.17	第5学年	17.78	20.33	39.22	39.78	46.44	9.54	155.67	16.67	59.22

県平均値かつ全国平均値未満

令和6年度新体力テストの結果 県平均値(令和6年度)・全国平均値(令和5年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	18.50	20.00	33.67	39.67	58.83	9.17	154.50	25.50	56.17	第5学年	17.78	20.33	39.22	39.78	46.44	9.54	155.67	16.67	59.22

県平均値かつ全国平均値未満

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	66.67	16.67	16.67	0.00	第5学年	33.33	44.44	22.22	0.00

学校独自の意識調査

運動をすることが	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
5年男子	5	0	1	0
5年女子	2	4	2	0
6年男子	2	0	0	0
6年女子	5	0	0	0
体育の授業が	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
5年男子	4	2	0	0
5年女子	3	4	2	0
6年男子	2	0	0	0
6年女子	2	3	0	0

重点課題

情意面での課題

○男子
・運動やスポーツをすることが好きと答える児童の割合が87.5%である。(前年比12.5%↓)
・体育の授業は好きだが、運動自体に苦手意識のある児童がいる。
○女子
・運動やスポーツをすることが好きと答える児童の割合が63.6%である。(前年比6.67%↓)
・体育の授業のみではなく、運動自体に苦手意識のある児童がいる。

体力面での課題

○男子
・「反復横跳び」において、県平均値を下回っている。
○女子
・県平均値かつ全国平均値を上回る成果を上げている。
○全体
・「上体起こし」に課題のある学年が、6学年のうち、3学年である。

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

○運動に必要である筋力の向上を目指し、取り組みを行う。

○児童への意識調査アンケートに、「体を動かすことが苦手だから、体育や運動、スポーツをすることがあまり好きではない。」「みんなが上手な時に、少しあせってしまうから、体育や運動、スポーツをすることがあまり好きではない。」という意見があった。体育や運動、スポーツが苦手な児童でも楽しく、意欲的に運動に取り組むことができるように、遊びやゲーム制のある楽しい運動を取り入れたり、単元ごとに学習内容をレベル別に行ったり、児童同士で学び合える環境を設ける。

体育の授業以外で行う取組内容

○家庭学習で筋力を向上する運動を行う。
○児童会を中心として、異学年交流での外遊びを推奨する。(月に1回程度)
○毎週火曜日は、ロング昼休憩を設け、遊ぶ機会の確保を行う。
○毎週火曜日の、ロング昼休憩の前に、元気タイムを設け、筋力の向上に努める。

令和7年度の重点目標値

○運動が好き、やや好きと答える児童を男子を90%以上、女子80%以上を目指す。
○男子、女子ともに、上体起こしの記録を全学年が県平均値、全国平均値以上にする。